

調理室便り

真和館では、毎月1回、栄養士と各ユニット入所者代表4名とで、メニュー検討委員会を行っています。今回は、6月の委員会について、ご紹介したいと思います。



- <ご意見>
- ・今日のカレーライスと、かぼちゃプリンは、甘さ控えめで美味しかった。
 - ・久々に天丼が出て、味も量も良く、おいしかった。
 - ・とんこつラーメンの味は絶品です。
 - ・チャーハン、特に味も良く、炒り卵いっぱい美味しかった。
 - ・紫陽花ゼリーは、美味しくて、きれいだった。

- <ご質問と栄養士回答>
- ・刺身は出ないんですか？
⇒刺身は、食中毒予防の観点から、暑い時期の提供は行っていません。次回提供予定は、10月になります。
 - ・〇〇さんがパンを食べたいと言っていました。
⇒パンの選択表に〇をつけていただくと、朝食でのパンの選択はできます。

お誕生者の案内

7月	10日 和田さん	10月	4日 藤岡さん
	16日 前川さん		4日 飯干さん
	18日 岡崎さん		9日 松本さん
	19日 東條さん		1日 雨森さん
8月	23日 外井さん	11月	5日 村上さん
	3日 宮崎さん		24日 河野さん
	6日 木山さん	25日 葉井さん	
	18日 佐藤さん	12月	1日 下村さん
	27日 増本さん		5日 川上さん
30日 森川さん	8日 西山さん		
9月	31日 宮本さん	9日 尾崎さん	
	24日 村上さん	14日 橋本さん	
			30日 畑野さん

新任職員紹介



坂本 豪

前職では、地域活動支援センターや相談支援事業所で、多岐にわたった業務をしていました。利用者様に寄り添い支援をさせていただいた経験を活かして、ここ真和館で力を尽くしたいと思います。



福井 大輝

4月から真和館の職員として勤務することになりました。福井大輝です。環境が変わり自然溢れる真和館で皆さんと一緒に勉強して行きたいと思えます。よろしくお願いします。



松岡 潤哉

4月から真和館で働く事となりました松岡潤哉です。入所者の皆様から、いつも笑顔で声を掛けていただき、楽しく仕事が出来ています。これからよろしくお願いします。

編集後記

梅雨が明けると、本格的な暑さが到来して参ります。みなさま、体調管理には十分に気をつけ、元気に夏をお過ごし下さい。今後も、3名の新任職員とともに、真和館をよろしくお願い申し上げます。

<編集責任>
田上

発行: 社会福祉法人 致知会
救護施設 真和館
〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村鳥子3072番地
TEL: (096) 279-1121 FAX: (096) 279-1122
E-mail: shinwakan@utopia.ocn.ne.jp
HP: <http://www2.ocn.ne.jp/~titikai/index.html>

※「風の彩り」に掲載されている写真等は、ご本人の了解を得ております。

真和館だより 第21号

風の彩り

老化しない組織(施設)をめざして



施設長 藤本和彦

救護施設真和館の姉妹施設として、「養護老人ホームあそ上寿園」が平成30年3月9日に阿蘇市乙姫に誕生しました。元々、上寿園は阿蘇市営の養護老人ホームとして運営されていましたが、平成24年7月の九州北部豪雨の被害で休園となっていました。社会福祉法人致知会が、その後継施設として新築移転の上、民設・民営でお引き受けすることになったのが「あそ上寿園」です。3月12日から入所が始まり、3月31日までに48名(男性18名、女性30名)の方に入所いただきました。

4月、5月、6月と時の流れとともに、新設施設特有の慌ただしい雰囲気も一段落し、入所者のみなさんも今ではスッカリ落ち着いて来られ、あそ上寿園の生活を楽しんでいただいています。

特に、食事時は華やかで、食事をされた後も、しばらくは話に花が咲き、ゆっくりと楽しいひと時を過ごして頂いています。レクリエーションも盛んで、カラオケ、合唱、映画観賞、ダンス、卓球バレー、玉入れなどが定着して参りました。

職員のみなさんも初めての仕事に戸惑いながらも、日々のルーティンワークを懸命にこなされています。

一方、真和館では、職員対象の依存症についての勉強会やクレプトマニア(盗癖)の学習会が始まり、また、入所者に対する精神障がい、特に、ひまわりの会(統合失調症の学習会)、オーダーメイド型の個別(様々な障害に対する)学習会、さらには、QC活動の立ち上げなど、入所者のこころの奥深くまで分け入った寄り添った支援をめざした取り組みが始まりました。

ところで、世の中の全てのものは、人であれ、組織であれ、物であれ、「生まれ、成長し、成熟し、老いる」というライフサイクルが有ります。

生気に溢れ誕生し、活気に溢れて成長し、次第に成熟して行き、そして、時とともに熱気や情熱は失われ、老化して行きます。

幸いにも、救護施設真和館は、アルコール依存症や精神障害に強い特色を持った施設をめざしており、職員のみなさんは日々研鑽を積んでおられ、養護老人ホームあそ上寿園は、3ヶ月がやっと過ぎた生まれ立ての施設です。

しかし、事業形態自身は、古い歴史を積み重ねて来た救護施設や養護老人ホームであります。すでに、時代の流れに即応できず、老化し瀕死の事業形態なのかもしれません。その中で、私どもは、なんととしても老化にストップをかけ、変化をし続け、生き残らねばなりません。

そのためにも、非常時には変わりゆくものに挑戦する勇気と気概を持ち、平時には、立ち止まらないでコンスタントに改革を積み重ねることができる組織(法人・施設)で有りたいと願っています。



あそ上寿園施設長挨拶

平成30年3月9日、阿蘇市乙姫に養護老人ホーム「あそ上寿園」が真和館の姉妹施設として誕生いたしました。これまで、真和館の副施設長をしていた私が、施設長の職に就くことになりました。真和館時代は、アルコール依存症に力を入れた取り組みをして来ましたので、あそ上寿園異動後も、土日開催される自助グループの学習会や大会には、今までどおり、参加をしたいと思っています。今後とも、よろしく願い申し上げますと共に、気軽にお声をかけて下さい。

施設長 藤本基子



あそ上寿園外観

入所者統計

1) 障害区分状況

H30年4月1日現在

	身体障害	知的障害	精神障害	重複障害			生活障害	合計	(内アルコール依存症)
				身体障害と精神障害	知的障害と精神障害	身体・知的・精神障害			
男	2	10	33(17)	2	8	0	4	39	(22)
女	0	1	16(9)	0	1	0	0	16	(6)
計	2	11	49(26)	2	9	0	4	55	(28)

※ 身体(3級以上)・知的・精神障害(3級以上)の数は手帳所持者の数であり、合計とは一致しない。

※ 精神障害の()内は統合失調症者の数である。

※ 生活障害のうち1名の方は療育手帳、3名の方は精神障害者保健福祉手帳申請予定である。

2) 年齢別入所者状況

	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	合計
男	1	4	6	10	8	9	1	39
女	0	1	3	2	5	4	1	16
計	1	5	9	12	13	13	2	55

平均年齢 男) 63歳 4ヶ月 女) 66歳 10ヶ月 全体) 64歳 4ヶ月

平成29年度 決算報告

貸借対照表
平成30年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	当年度末	科目	当年度末
流動資産	231,733,690	流動負債	178,682,535
固定資産	896,401,468	固定負債	156,381,423
建物	852,120,801	負債の部合計	335,063,958
土地	7,881,175	純資産の部	
構築物	15,922,331	基本金	71,446,947
車両運搬具	2,666,772	国庫補助金等特別積立金	479,392,741
器具及び備品	6,380,862	積立金	0
その他固定資産	11,429,527	次期繰越活動収支差額	242,231,512
		(うち当期活動収支差額)	10,344,684
		純資産の部合計	793,071,200
資産の部合計	1,128,135,158	負債及び純資産の部合計	1,128,135,158

事業活動収支計算書
(自)平成29年4月1日～(至)平成30年3月31日

勘定科目		決算
サービス活動収益計		213,113,050
サービス活動費用計		204,146,444
サービス活動増減差額		8,966,606
サービス活動外収益計		4,757,596
サービス活動外費用計		3,509,518
事業活動外収支差額		1,248,078
経常増減差額		10,214,684
特別収入計		329,525,772
特別支出計		329,395,772
特別収支差額		130,000
当期活動増減差額		10,344,684
前期繰越活動増減差額		231,886,828
当期末繰越活動増減差額		242,231,512
その他の積立金取崩額		0
その他の積立金積立額		0
次期繰越活動収支差額		242,231,512

ひまわりの会

「ひまわりの会(統合失調症学習会)」が始まり、約1年が経過しました。精神状態により参加に波はありますが、殆どの方が継続されています。グループワークが苦手な方も参加されていたり、「みんなに聞きたいから」と困りごとを事前に纏められていたり、途中退席しても戻ってこられたりと、会を意識した動きが見られるようになりました。毎回、自分の精神状態と向き合いながら参加されています。学習とともに、症状を緩和できる場としての「ひまわりの会」でありたいと思います。

<みなさんの発言>

- ・周りの人が悪口を言っていたり嫌われているように感じます。今も殆ど毎日感じます。母親からも怠け病と言われて、自分の気持ちを言えなかったです。この前、犬が亡くなって悲しかったけど、今日そのことを話せて良かったです。
- ・人が入ってこないように、一生懸命ドアを押えていました。妄想が起こらない漢方薬をもらってからは、そういうことはなくなりました。
- ・あまり睡眠をとらないと幻聴とか妄想が出てきます。小さいことをずっと考えていて、それが妄想なのかなとも思います。
- ・幻聴が初めて聴こえた時は、雑音のような、誰かざわざわ言っているように聴こえた。その場を離れてテレビを視たり、漫画を見て気持ちを切り替えました。
- ・入院した時に、病院の傍で幼稚園くらいの男の子が、マリアと言っている声が聴こえた。
- ・予知能力があると感じたことがあります。電気が落ちると聴こえたら落ちてくるし、タクシーが来ると聴こえたら来ました。聴こえてくるのが現実になるから予知能力があるんじゃないかと思っています。

個別学習

現在、3名の方の個別学習を実施しています。そのうち、「ADHDとアルコール依存症」の併存障害がある方の個別学習(ADHD)についてご紹介します。入所前、アルコール依存症のプログラムはされていましたが、ADHDについては、診断名だけがついて回っている状態でした。ADHDについてお話を伺うと、子供の頃から症状があり、本人も改善したいと前向きな思いがありました。また、根本を改善していくことは、アルコール依存症の回復に繋がっていくことにもなります。当初と比べると、物の見方や捉え方、感情の向け方、人との接し方等少しずつ変化を感じています。対人関係のスキルや不得手とするところ、改善すべきところが見えて来たので、そこに焦点をあてた学習を進め始めています。個別学習の良いところは、「人となり」が見え、日頃見えない部分(心)が伝わってくる所にあります。なお、今年中に、双極障害やクレプトマニアの学習会を立ち上げます。

居宅生活訓練

5月末、さんが2年間の居宅生活訓練を終え、地域生活へと戻られました。さんはクロスアディクション(依存症が重複していること)であり、4年前に真和館に入所された時には、ドライドリンク(飲酒はしていないが頭が酔っぱらっている状態)のようで、施設の中でもトラブルを起こしておられました。あるきっかけがあり、ご自分のことを見つめなおされ、そこから変化が起きました。真和館のARP(アルコールリハビリテーション・プログラム)にも積極的に参加され、学習が進むにつれ、考え方が変わってこられました。熊本地震の際には、他入所者さんの救助や、職員の手伝いをして下さり、大活躍でした。居宅生活訓練に入ってからも、心身ともに波がありました。しかし、悪い時には職員に相談されたり、ご自分で内観されたり、休養を取ったりして、どうにか乗り越えられました。また、外部の自助グループ等にも積極的に参加され、地域生活への繋がりを着々と築かれました。さすがに1年の居宅生活訓練では地域に戻ることはできず、2年の期間を丸々使って、ギリギリまで訓練を行いました。退所前には、独りで暮らす不安を口にしながらも、無事に退所されました(不安等を話せることはとても大切なことだと考えております)。地域生活を始められたばかりのさん。これからが本番です。ここから大変なことがたくさんあると思いますので、今後もさんと連絡をとりながら、見守っていく所存です。

アルコールミーティング発言集 ~それぞれの思いをのせて~

テーマ 得意としていた言い訳や理由付け (Iさん)



頭にきたから飲む、やけになったから飲む、だからやけ酒になる。アルコール依存症は感情のままに酷くなりました。疲れたから飲む、むしゃくしゃするから飲む。自己正当化、言い訳をして来ました。実際、飲んだらもつきつくなりました。飲んだら次の日は鬱になり、その鬱を晴らすためにアルコールを飲み続け、引き籠りにもなりました。自分の中にプライドや格好つけがあって否認もあります。自分の問題はお酒だけじゃありません。変えないといけない所は変えないといけない。一日の振り返りをして、そこで気が付くように自分をチェックしています。

テーマ 信じられるもの (M子さん)

(M子さん)断酒している自分です。
(職員)飲んでる頃の自分はどうか？
(M子さん)信じられません。



テーマ 自分の悲惨な過去 それは役に立つのか？ (Tさん)

役に立っていない。でも、アルコールじゃなかったら別の問題を抱えていました。酒気帯び運転で相手を傷つけてしまいました。今となれば、人を撥ねて刑事事件になって良かったと思います。そこで底をついて、「もう駄目だ。」と思いました。それまでは、お酒を止めることを考えたことはありませんでした。事故を起こして暫くは、車さえ乗らなければ飲みたかったし、実際お酒を飲んでいました。やっぱりお酒を手放せなくて、「人を傷つけんなら良からう。」と思うようになりました。それから震災が起きて、「俺はアルコール依存症とは違う。」と分からない振りをしました。医療に繋がる機会やアルコール依存症の知識がありませんでした。今思えば、若い頃からアルコール依存症が始まっていたと思います。地震が起きてアルコール依存症という病気の正体が表れました。自分で抑え込めなくて、周りに迷惑を掛けて警察沙汰になりました。そこで、行政から支援があってアルコール依存症治療の専門病院に入院になりました。そこから真和館に来ることになったんですが、ここまで力を入れているとは知りませんでした。

テーマ 悲惨な体験 (Kさん)

連続飲酒に入ってどうにもならなくなりました。どうにかして身体にお酒を放り込まなければあかん。ふと、我に返って身体を見たら血だらけ。顔も血だらけでした。あちこち痛いし、それでもお酒を飲まなあかんので部屋中のお金を探し回って、5,600円のお金を持って這いずるようにコンビニに行きました。これで助かる、そう思いました。コンビニの店員からすれば、「なんや、このおっちゃんは。」思ったでしょう。それでも、酒を宝物のように抱えてレジで精算をしました。本当はレジの前で飲みたかったんです。でも、それはいかんと思って家まで這って帰りました。家に帰ると5合の酒を一気に飲んでしまう。一時間も持たん。いつも、そんな飲み方でした。なんでそうなのか...考えても分かりません。焼酎が喉を通過して行くあの感覚...。そうやって飲み続けて専門病院に入院しました。真和館に入所して2年。なんせ病気なので、真和館を出たら分かんと思っています。歯止めになるような引き出しを身に付けて、人間的に大きくなって円満退所をしたいです。



平成30年度 年間支援計画

	指導班	生活支援班	医務班	調理班
4月	対話集会 創立記念式典 心みがきの講演会 AA健康グループ青空ミーティング(アスペクタ) 熊本ダルクワークショップ	誕生者食事会 春のスポーツ大会・バーベQ会 ゴールデンウィーク特別映画鑑賞会(連休中) 桜見学 大分オープン卓球バレー大会(別府市)	健康指導 	創立記念弁当 栄養指導
5月	対話集会 ピアカウンセリング(統合失調症) 熊本ダルク家族会	誕生者食事会 春の旅行(日帰り) 春の旅行(食事会) 熊救協スポーツ交流会(パークドーム) 西原村区役	感染症予防勉強会(食中毒)	端午の節句献立 
6月	対話集会 熊本県断酒友の会一般公開セミナー	誕生者食事会 カラオケ大会 地域防災訓練 還暦祝い 会長杯卓球バレー大会(八代市) 萩・卓球バレー交流大会(萩市)	口腔ケア勉強会	
7月	対話集会 AA九州沖縄地域ラウンドアップ	誕生者食事会 ムツゴロウ杯卓球バレー交流大会(佐賀市)	熱中症予防勉強会	土用丑の日献立 七夕メニュー 
8月	対話集会 心みがきの講演会	誕生者食事会 夏の旅行(食事会) お盆特別映画鑑賞会 青年会館杯卓球バレー交流大会		お盆献立
9月	対話集会 熊本地区オープンスピーカースミーティング	誕生者食事会 夏の旅行(キャンプ) 西原村区役	健康診断(第1回) 	お彼岸献立 敬老の日献立 お弁当(外部仕入れ)
10月	対話集会 ピアカウンセリング(統合失調症)	誕生者食事会 秋のスポーツ大会・バーベQ会 第18回 全国障害者スポーツ大会 福井しあわせ元気大会	健康指導 	ハロウィンメニュー 非常食メニュー 栄養指導
11月	対話集会 アディクションフォーラム(火の君文化ホール)	誕生者食事会 秋の旅行(食事会) 秋の旅行(日帰り) 紅葉見学 星野富弘美術館見学 西原村老人健康づくりスポーツ大会 火の国杯卓球バレー大会(熊本市)	心の健康勉強会 インフルエンザ予防接種 感染症予防勉強会(インフルエンザ)	
12月	対話集会 心みがきの講演会 年納め式 熊本アルコール関連問題学会 球磨・人吉地区合同断酒会	誕生者食事会 なかよし祭り カラオケ大会 大掃除 餅つき 年末・年始特別映画鑑賞会 事業団杯卓球バレー大会(熊本市)	感染症予防勉強会(ノロウイルス) 	冬至献立 クリスマスメニュー 年越しそば
1月	対話集会 年始め式	誕生者食事会 初詣		おせち料理 七草粥 鏡開き献立
2月	対話集会 ピアカウンセリング(統合失調症) 九州ダルクフォーラム	誕生者食事会 植木市見学 のぞく祭り 冬の旅行(食事会) 冬の旅行(一泊旅行)		節分献立 バレンタインメニューお弁当(外部仕入れ)
3月	対話集会 心みがきの講演会 益城病院アメリシスト例会(年3回~4回) 九州アルコール関連問題学会	誕生者食事会	健康診断(第2回) 	桃の節句献立 お彼岸献立 お花見お弁当

真和館 アルコール依存症回復プログラム(ARP)

平成30年7月1日作成

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
I	断酒の誓い 毎朝9時	断酒の誓い斉唱 1. 私たちは酒に対して無力であり、自分ひとりの力だけではどうにもならなかったことを認めます。 1. 私たちは断酒例会に出席し、自分を率直に語ります。 1. 私たちは酒害体験を掘り起こし、過去の過ちを素直に認めます。						1. 私たちは自分を改革する努力をし、新しい人生を創ります。 1. 私たちは家族はもとより、迷惑をかけた人たちに償いをします。 1. 私たちは断酒の歓びを、酒害に悩む人たちに伝えます。					
	断酒の集い 毎夕17時10分	断酒新生指針を全員で音読 月曜日 1 酒に対して無力であり、自分ひとりの力だけではどうにもならなかったことを認める。P1~P7 火曜日 2 断酒例会に出席し自分を率直に語る。P8~P14 水曜日 3 酒害体験を掘り起こし、過去の過ちを素直に認める。また、仲間たちの話を謙虚に聞き自己洞察を深める。P15~P22						木曜日 4 お互いの人格の触れ合い、心の結びつきが断酒を可能にすることを認め、仲間たちとの信頼を深める。P23~P28 金曜日 5 自分を改革する努力をし、新しい人生を創る。P29~P35 土曜日 6 家族はもとより、迷惑をかけた人たちに償いをする。P36~P40 日曜日 7 断酒の歓びを酒害に悩む人たちに伝える。P41~P45					
II	真和館アルコールミーティング (AA12ステップ) 毎週水曜日 10時15分~11時30分 (第4水曜日は外部AAメンバーからのメッセージミーティング)	ステップ1 「私たちはアルコールに対し無力であり、思い通りに生きていけなくなっていたことを認めた」 ステップ2 「自分を越えた大きな力が、私たちを健康な心に戻してくれると信じるようになった」 ステップ3 「私たちの意思と生きかたを、自分なりに理解した神の配慮にゆだねる決心をした」	ステップ4 「恐れずに、徹底して、自分自身の棚卸しを行い、それを表に作った」 ステップ5 「神に対し、自分に対し、そしてもう一人の人に対して、自分の過ちの本質をありのままに認めた」 ステップ6 「こうした性格上の欠点全部を、神に取り除いてもらう準備がすべて整った」 ステップ7 「私たちの短所を取り除いて下さいと、謙虚に神に求めた」	ステップ8 「私たちが傷つけたすべての人の表を作り、その人たち全員に進んで埋め合わせをしようとする気持ちになった」 ステップ9 「その人たちやほかの人を傷つけない限り、機会あるたびに、その人たちに直接埋め合わせをした」	ステップ10 「自分自身の棚卸しを続け、間違ったときは直ちにそれを認めた」 ステップ11 「祈りと黙想を通して、自分なりに理解した神との意識的な触れ合いを深め、神の意志を知ることと、それを実践する力だけを求めた」 ステップ12 「これらのステップを経た結果、私たちは霊的に目覚め、このメッセージをアルコールに伝え、そして私たちのすべてのことにこの原理を実行しようとした」	テーマミーティング—司会は入所者が担当: AAミーティングハンドブックの読み合わせとテーマに沿った体験談を話す							
	アルコール特別ミーティング 毎週土曜日 10時15分~11時30分	テーマミーティング—司会は入所者が担当: AAミーティングハンドブックまたは体験談を読み合わせる(資料: BOX916・AA日本ゼネラルサービス版、夜明けまでの長い旅Ⅲ・全日本断酒連盟版、Be!「アスク・ヒューマン・ケア」版)											
	しらゆりの会(女性限定) 毎週土曜日 14時~15時	テーマミーティング—司会は入所者が担当: AAミーティングハンドブックまたは体験談を読み合わせる(資料: BOX916・AA日本ゼネラルサービス版、夜明けまでの長い旅Ⅲ・全日本断酒連盟版、Be!「アスク・ヒューマン・ケア」版)											
III	学習 1 (導入)	HAPPYプログラム(国立病院機構肥前精神医療センター版) ※入所後、アルコール依存症であることを認めてもらうための学習会						自助グループからのメッセージ・体験談 ※随時(AA矯正小委員会メッセージ等)					
	学習 2 (DVD・テキスト学習) 毎週月曜日 10時15分~11時30分	DVD学習						映画学習		テキスト学習			
	学習 3 (グループワーク) 毎週火曜日 10時15分~11時30分	アルコール依存症再発防止プログラム(糸満晴明病院版) 基礎編 第1回~第9回 実践編 第10回~第19回						SMARPP「薬物・アルコール依存症からの回復支援ワークブック」 第1回~第28回					
	学習 4 (カウンセリング) (内観)	30分間ラポール(カウンセリング) ピアカウンセリング			一日内観(1ヶ月に1人2回、4ヶ月実施) ※第1・3土曜日 9:30~10:00 オリエンテーション 10:15~17:00 内観(1時間毎に面接)			日常内観(一日内観と並行して実施) 日記内観を静かな空間で毎日15分程度実施 1週間に1度職員による振り返り面談			集中内観(7泊8日) 指宿竹元病院又は三和中央病院で実施される 7泊8日の集中内観に派遣 内観懇話会(九州、熊本)		
	学習 5 (生きる力を養う)	森田療法 ※随時	心みがきの読書会 ※毎週金曜日10時15分~11時15分		SFAプログラム ※毎週月曜日13時30分~14時30分		心みがきの講演会 ※年4回講演会のうち、アルコール関係講演会を年2回実施						
IV	外部の自助グループ等への参加	KUMARPP(熊本県精神保健福祉センター) 各断酒会への参加(集まる会(人吉)、アメシストの集い)						各AAグループへの参加(AA熊本手取グループ、AA肥後大津グループ、AA健軍グループ)					
	外部の大会・学習会への参加	熊本県アルコール関連問題学会 熊本市こころの健康センター講演会 熊本県アディクションフォーラム 熊本県断酒友の会 人吉・球磨合同断酒会 益城病院院内断酒会 益城病院東部例会 菊陽病院院内断酒会 菊陽病院OB断酒会 AA九州・沖縄地域ラウンドアップ AA熊本地区オープン・スピーカーズ・ミーティング AA健軍グループ青空ミーティング AA鹿兒島地区オープン・スピーカーズ・ミーティング											
V	クロスアディクション対策	真和館ギャンブルミーティング 真和館薬物ミーティング 心のオアシスタバこの会 KUMARPP 熊本ダルク 熊本ダルク家族会 NA WRAP 行動変容グループ GA熊本グループ											
VI	重複(併存)障害対策	アルコール依存症と重複(併存)した障害をお持ちの方に対して、各人の障害(ADHD・双極性障害・統合失調症等)に応じた学習会を実施											
VII	居宅生活訓練	地域生活に向けアパートで居宅生活訓練を実施する(1年~2年)											